



弥生3月、ひとつの節目を迎える月です。
今年度のまとめとなる今月は、東広島市市民公開講座についてご報告します。



3月

令和6年度 東広島市市民公開講座 入場無料
※事前申込必要（詳細裏面）

やさしい街で暮らしたい

病気になっても、介護が必要になっても、
生活に課題を抱えていても…
自分らしく生きてゆきたい

日時 2025年 3月 8日(土)
14:00~16:00(開場:13:30)

会場 東広島芸術文化ホールくらら 小ホール
(東広島市西条栄町7番19号) 定員240名(全席自由)
※駐車場は①市岩田町駐車場 ②市岩田町駐車場をご利用ください
(2時間無料、総合案内で駐車券の処理をしてください)

【申込先・問合せ先】 一般社団法人 東広島地区医師会 地域連携室あざれあ
TEL (082) 493-7360 FAX (082) 493-7361

「令和6年度 東広島市市民公開講座」

2025年3月8日土曜日、東広島芸術文化ホールくららの小ホールで「令和6年度 東広島市市民公開講座」を開催しました。誰もが自分らしく暮らせる地域を目指して、テーマは「やさしい街で暮らしたい」としました。

基調講演では、自分自身もがん体験者である 広島国際大学薬学部 客員講師の平野清子さんが「がんサバイバーの私が伝えたい がん患者にもやさしい社会」と題して、「がん診断時から命の終わりまでがんとともに自分らしく生きる人を支えたい」というご自身の思いや、がん患者にやさしい社会として、3つの視点を示してくださいました。



【講師から示された がん患者に対するやさしい社会;3つの視点】

- ① アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を意識し、お互いが相手の心に寄り添おうとする社会
- ② 病気の有無にかかわらず、日頃から正しい情報を取り入れ、病気や治療を理解しようとする社会
- ③ がんを自分事として考え、がんサバイバー(がん体験者)が抱えている課題を協力して解決しようとする社会

またシンポジウムでは、4団体から地域に暮らす人を支えるそれぞれの取組について発表がありました。広島国際大学学生からの、東広島市のがん患者ボランティア(ケア帽子有志の会)が製作している医療用帽子を地域の医療機関へ配布する活動報告に続いて、東広島市 健康福祉部 地域包括ケア推進課 渡邊課長からは、東広島市が進める、高齢になっても地域の中で安心して生活ができるまちづくり「ぐるっとマルごと東広島」の取組についての紹介がありました。その中でも参加者の関心が高かったのは、市民の健康寿命の延伸を目指して、高齢者を中心とした健康づくり、介護予防活動や地域でのボランティア活動を推進するための取組、「元気輝きポイント制度」についてでした。講座が終わった後も、ポイント制度の活用方法などについての相談が相次ぎました。

さらに東広島市社会福祉協議会 地域福祉課 邑岡課長からは、東広島市社会福祉協議会が地域とのつながりを大切にして取り組んでいる「あったか笑顔のまちづくり」や、社会福祉協議会の役割についてなど、幅広く説明がありました。災害時の支援や、子ども食堂をはじめとする地域の人の居場所づくりなど、地域に根差した地域の課題解決に向けた取組に、聴講者は共感を覚えた様子でした。

最後に、東広島地区医師会と行政が主催するがん患者さん・家族・支援者のつどい ころの駅舎について、集いの代表を務める三木医院 三木院長から、ころの駅舎誕生の経緯や目的と共に、日頃の様子が動画で紹介されました。笑い声が弾む集いの様子は、参加者にとって明るい希望となりました。来年度も、地域の皆さんの「豊かな人生」を支える市民公開講座を企画したいと思います。